

## 令和5年度事業報告（令和5年4月1日から令和6年3月31日）

令和5年度は新型コロナウイルスの感染法上の分類が5類に見直された事で、会議や各種事業・懇親会は4年ぶりに全面開催することができました。

会員増強・交流事業委員会では「拡大×交流」をテーマに、7月には中島スプラッシュビーチでの家族例会を開催し、10月には新規入部会者の集いで大変盛り上がりました。会員数は大幅な純増によりコロナ前の300名台へと躍進をしています。

公益事業推進委員会においては9月1日の防災の日にあわせて、愛媛大学名誉教授である高橋治郎先生（構造地質学ご専門）に、南海トラフ巨大地震に向けた心構えと対策についてご講演いただきました。また、全国的に青年部会が進める「日本の財政健全化のための健康経営プロジェクト」の推進の一環である「健康経営宣言書」については昨年度同様に目標数を定め、全国へ提出しています。

租税教育委員会では従来開催してきた「租税教室・夢きらきらプログラム」を更にブラッシュアップすべく主権者教育（模擬選挙）を取り入れ、パワーポイントを児童目線で刷新するなど、楽しく理解しやすい授業へと進化しました。授業を開催した松山市立東雲小学校・久枝小学校・伊予市立北山崎小学校3校の児童や関係者にとって忘れられない夢の時間となりました。また、南海放送・テレビ愛媛・愛媛新聞など多くのメディアに取り上げていただきました。

新たに発足した渉外・広報委員会ではSNSを使った広報活動により、私たちの活動をより多くの方々へ発信し、その魅力を知っていただく事で新規・既存会員の活性化に努めてきました。渉外活動としては12月に「松山青年3団体スポーツ交流事業（JC・YEG・法人会青年部）」を開催しました。各3団体からは78名が参加してボウリングと懇親会で絆を深めました。

8月22日には「海外向け販売の第一歩」と題したジェトロ愛媛の企業セミナーを開催しました。（ジェトロ＝経済産業省所管の独立行政法人）昨今の円安・物価高騰も世界へとグローバルな視点を持てばビジネスチャンスへと変わる。良質なメイドインジャパン製品を海外に販売する為のツールやアドバイス、更には補助金についてなど新たなビジネスを後押しする活気あるセミナーでした。セミナー終了後も個別の意見交換で皆さん最後まで熱心に列をつくり、約一時間後に終了しました。

9月の県大会（伊予西条）や11月の全国青年の集い（山形大会）は本年も松山から24名のご参加いただき、全国の仲間と盛り上がりを見せています。

また、各支部例会は特色のある例会を開催しております。第2支部の浴衣例会や第3支部の愛媛マングリンパイレーツ応援例会など各支部が活性化することにより、部会全体にもより良い流れを呼び起こしていると実感しております。支部合同忘年会や新年例会は共に100名規模での開催となり、活気を取り戻しております。

中小企業を取り巻く環境は、コロナ禍で傷ついた経済ダメージだけでなく、物価高や円安問題とまだまだ山積しています。こんな時だからこそ、同世代の仲間が悩みを分かち合い、希望を語り、相談できる場所を創り、共にワンチームで友情を育み、明日につなげていきましょう。

松山法人会青年部会こそ全国屈指の組織力で、会員相互が伸び伸びと豊かに活躍できる最善の会だと確信しています。今後ともご支援ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。